



2009年6月4日
財団法人イオン環境財団

「生物多様性 日本アワード」創設について

(財)イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)では、環境省との共催により、2010年10月に愛知県名古屋市で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を機に、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進することを目的に、COP10開催1年前に当たる本年10月に、「生物多様性 日本アワード」を創設し隔年で顕彰いたしますのでご案内申し上げます。

「生物多様性 日本アワード」は、COP10のサイドサポートの一環として、本年10月9日(金)に愛知県名古屋市で第1回授賞式を実施いたします。

本アワードは、日本国内での個人・団体による取り組みもしくは、日本に拠点を置く個人・団体の海外での取り組みで、生物多様性の保全又は生物多様性の持続可能な利用に顕著な貢献が認められるものを、「生物多様性の保全領域」「生物多様性の持続可能な利用領域」それぞれ、フィールド リサーチ プロダクト コミュニケーションの4分野において計8賞を選定いたします。さらに、これらの事例の中から、その年を代表する傑出した取り組みについては、「生物多様性 日本アワード グランプリ(仮称)」として環境大臣による顕彰を予定しています。

また、COP10が開催される2010年10月に、生物多様性条約事務局等との連携のもと、生物多様性の保全や持続可能な利用について国際的に顕著な功績が認められる個人または団体に対する表彰を行うことも検討しています。

(財)イオン環境財団では、来年のCOP10開催に向けてさまざまなサイドサポートに取り組んでまいります。

【「生物多様性 日本アワード」授賞式について】

日時：2009年10月9日(金) 15時～16時30分(予定)

会場：名古屋マリOTTアソシアホテル 16階 タワーズボールルーム

その他詳細につきましては、決定次第発表させていただきます。

【「生物多様性 日本アワード」の8部門】

「生物多様性の保全領域」

フィールド部門	特定の地域における生物多様性の保全・再生のための活動
リサーチ部門	生物多様性の保全に関わる調査、研究、技術開発
プロダクト部門	生物多様性の保全活動に資する商品やサービス、保全活動により算出される商品やサービス
コミュニケーション部門	生物多様性の保全の重要性の理解を促すための教育活動や広告・広報活動

「生物多様性の持続可能な利用領域」

フィールド部門	特定の地域における生物多様性の持続可能な利用のための活動
リサーチ部門	生物多様性の持続可能な利用に関わる調査、研究、技術開発
プロダクト部門	生物多様性の持続可能な利用により開発された商品やサービス持続可能な利用に資する商品やサービス
コミュニケーション部門	生物多様性の持続可能な利用の重要性の理解を促すための教育活動や広告・広報活動

主催：イオン環境財団及び環境省 後援（予定）：国内関係機関

【ご参考：イオン環境財団について】

（財）イオン環境財団は、地球環境を守るためのさまざまな活動を自ら展開するとともに、同じ志を持つ団体への支援・助成の実施を目的として1991年に設立されました。

当財団では、これまでに中国やマレーシア、タイをはじめ国内外での植樹活動や、1991年の設立以来、地球環境・地域環境保全のために積極的・継続的に活動を行っている団体への支援を行いこれまでに国内外2096の団体へ18億を超える助成を実施しております。